

耕平さんかわら版

発行編集部
大塚耕平事務所
☎052-757-1955
kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。師走も押し迫ってきました。気が早いですが、どうぞ良い年をお迎えください。かわら版も来月から足かけ七年目になります。引き続きどうぞよろしくお願ひします。

さて、良い気分で行越したいところですが、国会では何だか不可解な話が多く、釈然としない中で年末を迎えています。

今一番の話題と言えば、防衛省の守屋前事務次官の汚職事件。背景には大きな利権構造があるようですが、とりあえずの突破口は次期輸送機(CX)を巡る疑惑です。



防衛省は、CXの受注企業を入札で決める際に「エンジン」は「カンキユウ」なので機体だけお願ひします」として、川崎重工が落札。妙な話です。本来であれば、推力等にも注文をつけ、エンジン付きの機体を川崎重工に発注するのが合理的。「カンキユウ」とは何でしょうか。

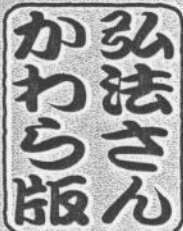
防衛省に聞いたところ、「カンキユウ」は「ジャキユウ」に対する言葉だそうです。という漢字を書くか想像がつかずか。

正解は「官給」と「社給」。「官給」とは「防衛省が自ら調達して支給する」という意味です。では、何を「官給」とするかはどういう基準で決めるのでしょうか。参議院外交防衛委員会で石破防衛大臣に聞いたところ、「官が調達した方が安上がりで、しかも官にしか調達できないもの」との不可解な答弁。納得できませんね。

なぜなら、このエンジンやインド洋で自衛隊が米国に提供した油は、他国が調達する場合よりもずいぶん割高なところが問題になっています。ぜんぜん安上がりではないです。おまけに、エンジンは「官にしか調達できない」ものではなく、川崎重工が調達して機体につけた方が合理的です。どうやら「官給」というしくみが汚職や米国との癒着の温床になっているようです。防衛省が使う予算も国民の皆さん税金です。役人の私腹を肥やすために使われては堪りません。言わんや「オネダリ妻」と言われたその奥さんにまで食われては納得いきません。軍事オタクと言われる石破大臣、もう少しシツカリしてくださいよ!!

こうした問題を解決するために、これからも頑張ります。来年もどうぞよろしくお願ひします。それでは良い年をお迎えてください。

「弘法さんかわら版」配り手ボランティア募集



since 2002

毎月**21**日
午前**9**時~**11**時
覚王山日泰寺参道で
お待ちしております!!

連絡先：052(757)1955 担当 中村

